

令和5年度 山岸地区まちづくり懇談会 懇談事項

令和5年7月5日(水)

No	懇談事項	説明	担当部課名
1	<p>盛岡市役所新庁舎の内丸地区への移転を含めた山岸、浅岸、愛宕地区の活性化について</p> <p>現在、山岸・浅岸・愛宕地区は、コロナ禍も影響し、商店や食堂なども激減するなど、だいぶ廃れてきています。特に若い世代が盛南地区や矢巾町などに移動していく傾向にあり、高齢化がだいぶ進んできています。特に、内丸地区は、藩政時代から政の中核であり、現在は、盛岡、岩手、北東北の行政、ビジネスの心臓部に当たることもあり、盛岡市役所新庁舎の建設候補地を内丸エリアに誘致することも含めて、山岸、浅岸、愛宕地区の活性化について考えていきたいと思えます。</p> <p>山岸、浅岸、愛宕地区の活性化について、参加者の皆さんから、建設的な意見を多く頂ければ幸いです。</p>	<p>新市庁舎の整備は、市全体のまちづくりにとって重要な事案であるとともに、整備候補地及び周辺地区の活性化に、大きな影響があるものと存じます。</p> <p>今後、様々な御意見を伺いながら、市の将来のまちづくりや地域活性化を十分に踏まえ、整備エリアの選定を含む「新市庁舎整備基本構想」の策定に向け、検討を進めてまいります。</p> <p>将来のまちづくりの基本的な方針を定める「盛岡市都市計画マスタープラン」の地域別構想では、浅岸、愛宕地区を含む「山岸・加賀野地域」のまちづくりの目標を「みんなでつくろう！自然に親しみ、人とふれあう、歩いて楽しいまち」とし、基本方針として、中津川等の自然資源の活用、地域の骨格となる幹線道路の整備や地域内でのイベントや世代間交流を通じたコミュニティの維持などを掲げており、この方針を踏まえた取組が必要であると考えております。</p> <p>地域コミュニティの活性化について、市は、地区内の町内会・自治会、PTA、老人クラブ、NPO法人及び企業など多様な主体が相互に連携・役割分担して、地区のまちづくりや課題解決を進める地域協働の取組に対し、「盛岡市地域づくり協働推進計画」に基づき、補助金の交付、活</p>	<p>総務部 管財課</p> <p>都市整備部 都市計画課</p> <p>市民部 市民協働推進課</p>

令和5年度 山岸地区まちづくり懇談会 懇談事項

令和5年7月5日(水)

No	懇談事項	説明	担当部課名
		<p>動情報の提供、研修会の開催、職員による支援などを行っております。</p> <p>山岸地区においては、「盛岡市山岸地区福祉推進会」を中心として平成26年度に「山岸地区地域づくり計画書」を策定し、「自然が豊かで みんな元気なまち 山岸」をスローガンに、空き家の支障枝の除去作業、高齢者の交流会や見守り体制づくり、工夫を凝らしたスポーツ大会の開催、中津川への鮭の稚魚放流、山岸の歴史語りをインターネットに公開するなど積極的に地区の特性を生かした事業を展開され、市もその取組を支援してまいりました。</p> <p>山岸地区が進める活性化に向けた取組について、参考となる情報の提供や地域担当職員による支援などを行いながら、地区の皆様と一緒に考えてまいりたいと存じます。</p>	